

第12期東京都生涯学習審議会 第8回全体会

次 第

日時：令和4年8月26日（金曜日）

午後6時00分から午後8時00分まで

会場：都庁第二本庁舎31階特別会議室24

1 開会

2 議事

「これからの地域コミュニティづくりにおける都立学校の在り方」について

(1) 広石委員からの報告

(2) 福本委員からの報告

3 今後の予定

4 閉会

【配布資料】

資料 第12期東京都生涯学習審議会第8回全体会 審議資料

第12期東京都生涯学習審議会委員

(任期：令和4年1月13日から令和6年1月12日まで)

氏名	所属
エビハラ ショウコ 海老原 周子	一般社団法人kuriya 代表理事
サイイ ヒロミ 笹井 宏益	玉川大学 特任教授
サワオカ シノ 澤岡 詩野	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員
シンダ マナミ 志々田 まなみ	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官
タケダ カスヒロ 竹田 和広	一般社団法人ウィルドア 共同代表理事
ノグチ アキナ 野口 晃菜	一般社団法人UNIVA 理事
ヒロシ タクジ 広石 拓司	株式会社エンパブリック 代表取締役
フクモト ミチヨ 福本 みちよ	東京学芸大学教職大学院 教授
マツヤマ アキ 松山 亜紀	株式会社セールスフォース・ジャパン 社会貢献部門 ディレクター
ヨコタ ミホ 横田 美保	特定NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J) 事務局長

(令和4年4月1日更新)

第12期東京都生涯学習審議会

第8回全体会 審議資料

令和4年8月26日

1 開会

2 議事

各委員からの「検討枠組み」を受けた提案

(1) 広石 拓司 委員

(2) 福本 みちよ 委員

3 今後の予定

広石委員からの報告

「住民参加・住民主体の地域が
生まれる拠点とは？」

住民参加・住民主体の地域が 生まれる拠点とは？

empublic[✿]

広石 拓司

hiroishi@empublic.jp

本日の内容

- 自己紹介、活動紹介
- “学校”というハードを活用した地域づくり
- これからの地域づくりに必要な拠点

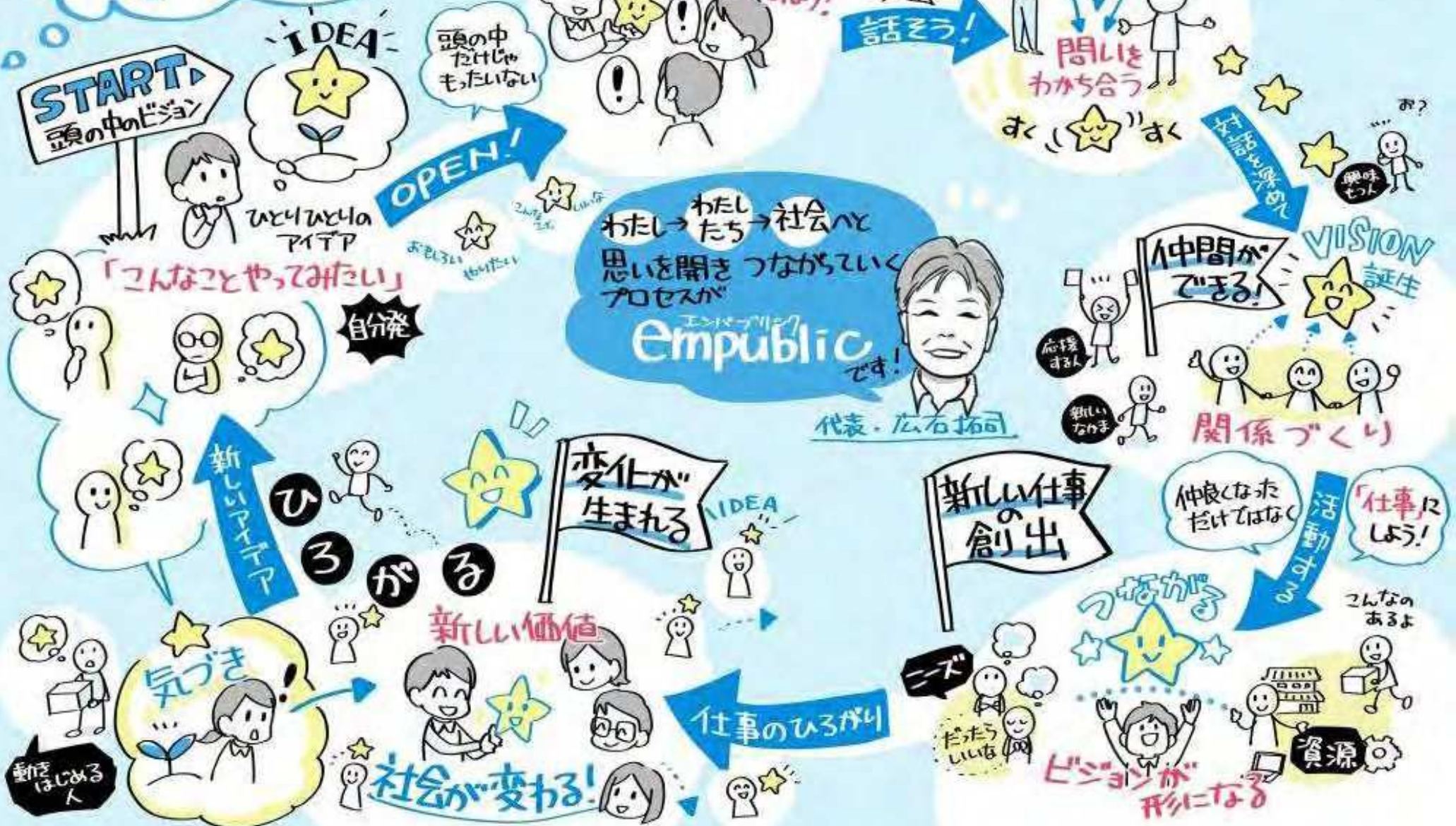
自己紹介：広石拓司 株式会社エンパブリック代表

- 民間シンクタンク勤務後、2001年～NPO法人ETIC.にて社会起業家の育成に携わる。
- 2008年エンパブリック創業
- **思いのある誰もが新しい仕事を創り出せる社会へ**
 - SDGs時代のビジネスと地域の協働によるソーシャルビジネス開発支援
 - 「地域コミュニティ ⇄ 地域の仕事・活動」による地域づくり

- ちよだコミュニティラボ
～千代田区など都心のコミュニティ醸成
- 日野リビングラボ（企業と地域の共創）
- サステナビリティ・ビジネスの開発支援
- 東京ホームタウンプロジェクト
（東京都の地域包括ケアシステムの
地域づくりコーディネーターの養成）
- Jリーグ 社会連携 アドバイザー
- 慶應義塾大学SFC、立教大学経営学部、
大学院21世紀社会デザイン研究科兼任講師



エンパブリック サイクルとは?



つながりをつくる人を知ろう



言葉の分かれ合いから、つながりは始まります



田近 健一さん
 千代田区立千代田区立 千代田公園地区連合自治会
 「大塚お祭り」担当

他の人が知っていることを自分が知らないと感じられたように感じるでしょう。千代田公園地区連合自治会のホームページ「大好き千代田」は、住居人、通う人が、町の活動、人、祭り、歴史などの街の情報を公平に共有できるように運営しています。

すれ違い際に挨拶できる街を！



山森 彩香さん
 あるまじい千代田区観光実行委員会



千代田区や都内で暮らし通う人が、すれ違いに「こんにちは」と挨拶できる関係ができればと考え、地域のお店等を「あるまじい」で紹介しています。また、紹介したお店が出版する「ふれあいHELLOマーケット」を一冊で毎日開催しています。

就学準備教室で、小学校入学前の不安を払拭



村上 沙織さん
 就学準備教室 リーダー 代表

小学校入学後に異国生活に馴染めない心「アロギ」の解消をモットーに、就学意のいる歳の子どもが小学校の授業を体験する教室をしています。都心の街は、入学前に集団行動の経験の少ない子どもも多く、親さんも不安要素を覚つけづらい状況があります。区各地で開催しているので、ぜひ体験してみてください。

千代田区の魅力を情報発信



渡辺 美樹さん
 一般社団法人 千代田区観光発信会

千代田区の観光情報や区内で活動する観光関係のイベント等の情報をホームページで発信しています。また、観光案内所で千代田区を中心に東京都内や全国の観光案内パンフレットを配布しています。地域参加の第一歩は、まずは地域イベントへの参加。こうした情報は、在住、在勤、在学の方にもご利用いただけます。

バリアフリーマップづくりから歩きやすい町づくりへ



金子 久美子さん
 NPO法人リープ・アウト・フォー・ユース 代表

「歩きやすいまちって何だろう？」をテーマに、町のバリアフリーに不自由を感じている人、感じていない人が集まり、まち歩きをしながら、バリアフリーマップ作りをしています。この活動がいつかは歩きやすいまちづくりへとつながればと思っています。

人を知り、町を知る学習を実施




杉崎 和久さん
 流通大学 准教授

町の情報を共有する

まちにあるものを伝える

町にとっておきを一緒に楽しむ



渡辺 美樹さん
 CCxTokyo 代表

IT企業に勤務しながらの子育てが一変した時、千代田区に住んでいるのに「千代田のこと知らない」と感じました。調べ始めると千代田区の魅力をどんどん見つけ、独自のまち歩きを企画するようになりました。住んでいるからこそ感じる季節の移ろいや景色や、歴史、とっておきのお店や商品を、参加者の人と一緒に楽しんでいます。

わかしあう
 My Community Story

まちで子どもを育てる



経験・知見を共有する



小林 孝さん
 NPO法人 シニア大衆

シニア大衆では「シニアのこれまでの経験や知識・知見を活かし講師になり、社会貢献」を目的に活動しています。登録している講師は400人以上。自治体などの講座や演習会で活躍しています。ビジネススキルだけでなく趣味や子育て、旅行経験なども、私も趣味のマジックを披露して会場を楽しんで頂いています。


食育・花育・食農連携で心身の健康力をキープ！



蛭口 美恵子さん
 大妻女子大学短期大学部 食育ボランティアグループ「リレー」 主宰

食を通じた学術協力の共有を理念に、学生や卒業生と共に食育ボランティア活動を行っています。親子や多世代を対象に、食を通して交流するイベントを開催し、食の大切さを伝えたいと思っています。また、三輪の和やみ、みかん、エネガの皮から抽出する色素を用いたエコな染色クラフトなども取り入れ、後継ぎな生活環境を健康に維持増進につなげる活動も展開しています。

海外の方をOurコミュニティでおもてなし



川村 貴美江さん
 Chiyoda Community Connection

ラボ"ライブ"!2021

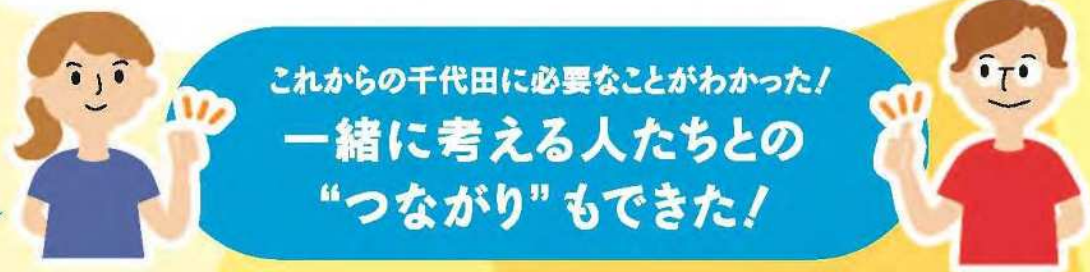


問題意識を持ち寄る

対話する!

地域の変化、コロナの影響を超えて、
千代田での暮らし・仕事・活動・学びの
新しい価値を創るには?

千代田での
新しい一歩へ!



住民・活動者が
今、話し合いた
いこと → 40

分かち合いたい
16の問い

問いを共に
考える

つながり

地域の課題解決
力の向上

1

気さくに声かけあい、
交流できる場を
街中につくるには？

3

地域活動が難しい
中でも、なんとか
つながり続けるには

5

コロナで育児疲れ…、
子育てを相談できる
近くの人とつながるには？

7

テレワーク時代に、
千代田で働くことの意味は？
新しい可能性は？

困難な中でもつながる

多様な人が生きる

2

困った時に助け合える、
マンション・コミュニティを
実現するには？

4

誰一人取り残さない！
多様な関わり方、色々な
つながりを実現するには？

6

地域の力を活かして、
子供たちの学び・体験の
機会を豊かにするには？

8

学生と地域が効果的に
つながるには？学生が
地域とつながる意味は？

9

神保町を多様な人たちが
協力して守り立てて
いくには？

11

大人が学び続け、
新しい機会に出会える
千代田をつくるには？

13

健康に暮らせる街を
実現するには？

15

千代田×SDGs、
何ができるだろう？

価値を見直し、再発見する

新しい時代の価値づくり

10

千代田の豊かな地域資源を
知り、もっと楽しむ文化を
広げるには？

12

“おとこ”と“おんな”のこと、
今、改めて考えて
みませんか？

14

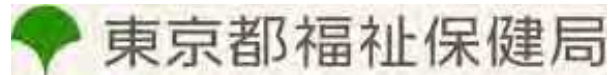
地域活動でオンライン活用！
高齢者こそITを使いこなす！
を実現するには？

16

日常の食を通して
SDGsに貢献するには？



東京ホームタウンプロジェクト



◆ 目指していること

担い手の活動の活性化による介護予防、生活支援の充実を通して、**超高齢社会に必要な地域づくり**を推進する

～高齢都民が誰も取り残されず、高齢期を自分らしく暮らせる東京へ



東京の**人**の力を活かす

新しい出会いを通して

- **活動**を見直し、
- **地域**を見直し、
- **自分**を見直す

この街は、まだまだできる、もっとできる！



いつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウンプロジェクト

活動を軸にした アプローチ

地域づくりの課題

- ・新しい高齢世代の社会参加
- ・主体的活動、支え合いの促進
- ・老々介護、単身世帯増加
- ・認知症の人も暮らせる地域づくり



地域の担い手の活動の 持続・発展の支援による 課題解決

- ・活動の持続性、事業力
- ・参加者数の拡大、多様な人の参画
- ・楽しさ、やりがい、・新しい発想
- ・既存活動の意味付け

活かせる社会資源は たくさんある！

東京のビジネスパーソンのカ

住民主体の地域づくりの考え方、
手法、実践事例からの学び

話し合いの場の設計、合意形成、
ファシリテーション

ライフシフト、人生100年時代
の高齢者像への転換

ビジネスの手法

ITツール、多様なサービス

- ・地域団体×プロボノの
コーディネート
- ・生活支援コーディネーター
の地域づくり力の向上

いつまでも元気で暮らすための体操活動サークル

えがおいきいき ができるまで

1 なぜ介護予防が大切なのか、どんな活動があるか、学びました

高齢期の健康、介護予防を参加者同士で話し合いながら、狛江の状況について学びました。

狛江市で介護予防の体操活動を既に実践している「野川元気スクール（通所型サービスB）」の見学もしました。

介護（＝お世話してもらい立場）を予防するには、
 ・運動を続けること
 ・一緒にできる仲間を、自分（達）でつくるのが大切

地元で実践している人たちがいるんだ

学んだこと

- ・高齢期の暮らしと身体に必要なこと
- ・狛江市の現状と介護予防への取組
- ・介護予防と地域包括ケアの考え方
- ・介護予防ケアマネジメントの基礎
- ・地域の資源（活動・施設・専門家など）、自分のニーズと実現したいことを考える



2 健康体操を体験してみました



大井直子先生
 ヨガやダンスも取り入れた健康体操



大内巖児先生
 武道の動きを取り入れた健康体操

楽しかった！
 また来たいと思った。

先生や参加者と話し合いながら、思いや考えを
 離れたのが良かった

「いいから来たら」と
 まわりに声をかけた

2人の先生の指導で、健康体操を体験しました。
 体操するだけでなく、先生の活動への思いや、楽しみながらできる工夫を知り、自分達の参加動機を話し合ったりしました。

3 健康体操を体験しながら、続けるために必要なことを考えました

オリジナルで地図、工夫された体操がよかった

体操の中にも、話し合いや自分達で運営する要素が入っていた

学んだ「続けるコツ」

- ・仲間を増やす方法
- ・役割分担
- ・相手の良いところをみるコミュニケーション
- ・記録の方法
- ・運営体制とお金の管理
- ・活動の計画づくり

健康体操（15分）



講師・話し合い（30分）

自分達でやるのが大切なんだと思った

体操に興味があって来たが良い刺激になった

4 自分たちで考え計画して体操教室の運営を試行しました

これまで学んだことを活かして、健康体操の活動を実際に自分達で運営する体験を行いました。

先生を決め、2グループに分かれて、4回のうち2回ずつ、準備、受付、講師との打合せ、司会、後片付けをそれぞれのメンバーが担当しました。



週1のペースができ、効果を実感



仲間意識が高まった

5 これからについて話し合い、活動を始めることになりました！

4回の試行の良いところ、課題や運営方法、サークル名を決めて、活動を立ち上げました！

決めたこと

- ・活動場所
- ・講師の先生について
- ・先生への謝金、会費
- ・広報・仲間集め
- ・当日運営の手順
- ・団体の立ち上げ

サークル名に思いを込めた

このチャンスを活かしたい



自分達で活動を立ち上げる喜びがある

地域づくりは、共に学ぶ場から始まる

自分の興味から、
地域の人が集う**機会**

地域の課題とリソース
を知る**体験**

話し合い、共に挑む
過程から仲間になる

ともに
学ぶ場

成功と失敗から
自ら学ぶ**コツ**をつかむ

地域の課題解決の
担い手に

“学校” というハードを 活用した地域づくり



尼崎市 みんなのサマーセミナー



サマセミ!

2022年8月 **会場** 尼崎市立尼崎高等学校 尼崎市上ノ島町1丁目38-1

6(土).7(日)開催決定! 入場無料 持ち物 うわばき 筆記用具

「みんなのサマーセミナー(略称:サマセミ)」は、誰でもセンセイ、誰でも生徒になれる学校ごっこ。学びの夏祭りが、今年もやって来る!

新型コロナウイルス感染症の影響によっては、中止もしくはオンラインで開催します。サマセミのホームページ(右記)で随時お伝えしますので、ご確認ください。

Check our website!
サマセミ 尼崎 検索
もしくは、QRコードからアクセス

みんなのサマーセミナー ホームページ

今年の夏こそリアルで会えるセミ

みんなのサマーセミナー
みんなのサマーセミナー

主催:みんなのサマーセミナー実行委員会、尼崎市、尼崎市教育委員会
お問合せ:TEL/06-6375-5639(尼崎市コールセンター)
月一富層 午前8時30分~午後7時 土日祝 午前9時~午後5時
MAIL/ama-uma@city.amagasaki.hyogo.jp(尼崎市生涯学習課)

- まちの「みんな」でつくる、2日間だけの学校ごっこ
- まちのみんなが先生や生徒になれる「学びの場」
- まちのオモロい人やスゴい人は誰でもセンセイになれて、学びたい人なら誰でも生徒になれる
- 2日で、300の講座



サマサミニー 時間割表

2022 年 8月 6日(土)

	1限 10:00-10:50	2限 11:10-12:00	3限 13:20-14:10	4限 14:30-15:20	5限 15:40-16:30
3F	303 少年問題、心の癒しから考える。 高久 幸	怒られたる 怒ったことがある小学生集まれ〜 松 美穂 200円	集まれ中高生！ゲームで実感・怒りの度合い 長 智子	ゲームで学ぼう！プラン・マネジメント 山本真由	驚語を一掃〜古事記を楽しく解説しよう〜 高橋由紀(古今事類三)
	3-C 今日仕事休みたいけど7から考える異性育体 藤田智博	数学はトイレじゃない！犬と暮らす新常識！ あらいさやか	夢を叶えるお金の学校 山口幸子	「障害のない社会って何やる〜?」 山本真由	お節の類になったる。 松本智史
	3-D 小学校受験勉強日記！地割を育てる方法とは？ 山本真由 (Mitsunori & Yumi)	ピトほどこまで成長できるの？ 江野津美由	高字体験してみよう！ 山本真由(江野津美由)	ピリオドバトル最終 サマセシの乱 山本真由	インクルーシブな社会を目指して 松本智史
	3-E 京博被害者による祭り部 山本真由(江野津美由、山本真由)	プラモデルの作り方(金型開封含む) 山本真由(江野津美由)	すべてをプラス思考に変換 山本真由(江野津美由)	ぬこの勝負〜萌え主とベットの安心対策編 山本真由(江野津美由)	おっさんトライアスリートですが？ 山本真由(江野津美由)
	3-F 新着絵本が出遇った生まで行く道 山本真由(江野津美由)	道具の仕事内容、経験等を丸裸に！ 山本真由(江野津美由)	動物のおしぼりアートと紙芝居 山本真由(江野津美由)	子どもからのメッセージ、どう受け取る？ 山本真由(江野津美由)	あんなに可愛いこと、どう見てる？ 山本真由(江野津美由)
	3-G 阪神水産企業団って？ 山本真由(江野津美由)	みんなと一緒に公共施設マネジメント'22 山本真由(江野津美由)	日本聖ってどうなってるの？ 山本真由(江野津美由)	尾崎城プラモデルの3Dデータ設計 山本真由(江野津美由)	#推しおける生活 山本真由(江野津美由)
	3-H 英語講座 マスクを着けて開体編！ 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	アッパーな人見知りのための自己アピール術 山本真由(江野津美由)	ゲームプログラミングアプリ(続) 山本真由(江野津美由)
	普通教室 日本語は難しいか 山本真由(江野津美由)	大学院生が教える「食べる魚の魅力」 山本真由(江野津美由)	日本三大奇祭御柱祭に潜入してわかったこと 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
食物教室 パフォーマンス歴史学習 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)	
検定教室 「森の食糧」サマセシ出張版 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)	
専攻科総合実習 親子で楽しむ大道音楽会 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)	
4F	2-A 人生と健康 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	2-B 新西舞の顔トレ！しゃべりながら体験してみよう 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	403 #MARUの絵本〜サマセシ編〜 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	2-C 億万長者は誰だ？社長になりきってみよう 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	2-D ママ経営応援！インストア集客始めよう 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	2-E 子供の個性をステキに伸ばす方法 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	2-F メイドカデシ(7)さええやん！ 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	2-H 新かまぼこ伝わりないかも？南部再生の魅力 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
5F	410 忍者の呼吸を体験しよう！ 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	510 ママ寝てなに？〜本家の自分を知るワーク 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	音楽教室 懐か歌を好きな理由も 懐か歌のレッスン♪ 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
	音楽教室 懐か歌のエイガリパディとくみスルパラン 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)
美術教室 エコガラスびんで工作をしよう！ 山本真由(江野津美由)	英語落語 山本真由(江野津美由)	店舗開発という仕事 山本真由(江野津美由)	お灸教室 さあ冒で体験しましょう！ 山本真由(江野津美由)	暑らしにアロマを！ 山本真由(江野津美由)	

市立尼崎高校 学校開放 市尼フェスタ



- 市内の小中学生や地域住民に本校の豊かな体育施設を開放し、「地域に開かれた学校づくり」を目指していく

	時間	内容	場所	対象・人数
1	9:00～10:30 (受付8:30～)	講演会 寺本明日香さん	体操場	体操に興味のある小中学生50名 *小学生は保護者の同伴が必要です。
2	9:00～12:00 (受付8:30～)	①講演会 奥村幸治さん 9:00～	特別講義室	中学生1・2年生50名とその保護者
		②野球部員による野球教室 10:30～	グラウンド (雨天：屋内練習場・体育館)	
3	13:00～14:30 (受付12:30～)	講演会・デモンストレーション 木村敬一さん	特別講義室 プール	100名 *小学生は保護者の同伴が必要です。
4	13:30～15:00 (受付13:00～)	かけっこ・走りの基本教室 陸上部員による教室	サブグラウンド (雨天：体育館)	小学生（1～6年）50名 *小学生は保護者の同伴が必要です。

台東デザイナーズビレッジ

- 旧小島小学校の校舎を活かした、ファッションに特化した創業支援施設



これからの地域づくりに 必要な拠点

地域づくりに必要な場

- 多くの施設、サービスが専門性に分化している
 - ⇒ **ごちゃ混ぜのまちの空間**
 - ◆ 分野・テーマ、専門度、ボランティア～起業
 - 整っていないからこそ、自分の“関わり代”ができる
 - クロスセクター、越境的な出会いの機会
- **対話ができる場**
 - 日頃思っていることを言葉にできる場
 - 問いかける人 + ファシリテーター
- **多様な学びを体験できる場**
- **継続する活動、仕事を生み出す機能**

学校という
空間は
活かせる
のでは？

学びの多様性

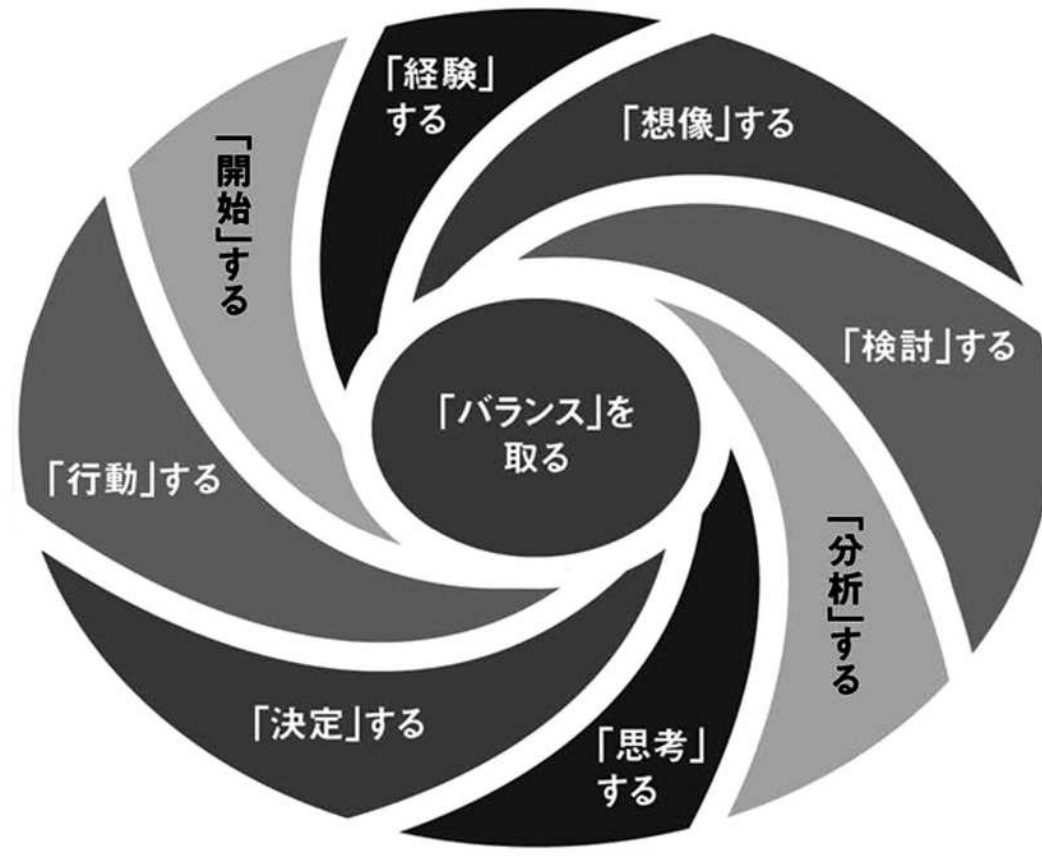


図3 9つの学習スタイル

出典：デイヴィッド・A・コルブ、アリス・コルブ「コルブの学習スタイル一覧 4.0 (The Kolb Learning Style Inventory 4.0)」Experience Based Learning Systems, Inc. (2016)

コミュニティ ラーニング センター (CLC)

- 日本の公民館の東南アジア等への展開
- 国際人権NGO「ACTED」の説明
機能的なリテラシー、職業スキル、および仕事関連のスキルを、コミュニティ内で疎外された若者や子供たち、特に正規の教育制度で学び続けることができない人々に提供する上で重要な役割を果たしています。
さらに、CLCはあらゆる人生の歩みにとって生涯学習の機会の中心的な場所です。
- ▶ 運営委員会、プログラム設計、地域との関係づくりなどをマニュアル化し、展開

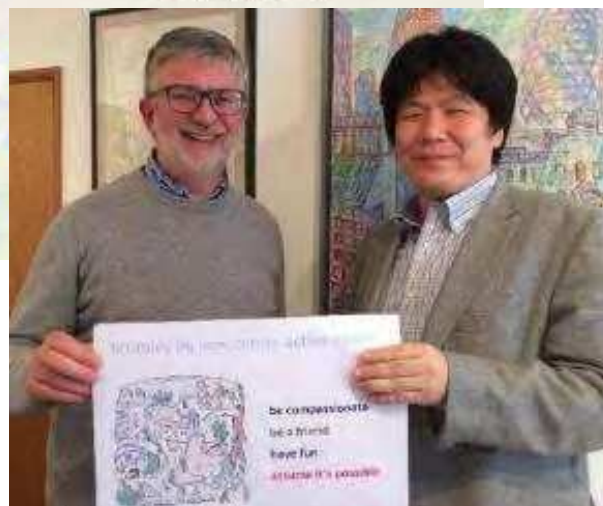
ブロムリ・バイ・ボウ・センター



- 人を包括的にみる
- 活用できる社会資源を共に探し、アクセスし、使える状況をつくる
- その過程を仕組みにする

Active Value

- 寄り添うこと
- 友人であること
- 楽しいこと
- できる！と信じて動く



ブロムリ・バイ・ボウの特長

- 福祉・保険、教育、保育、住宅、就労、アート、環境、創業、カフェなどを1か所で行う。
→ 生活は分割していない。
どの接点からでも他につなげられるように
- **友達**として寄り添う
→ 一つで失敗したら別を試せばいい。
状態や結果の良し悪しでなく**継続する**生活支援
- 住民や職員、誰でも気づいた足りないこと（＝現場で見つけた**隙間**）の呼びかけ(Advocacy)からのプロジェクト創出

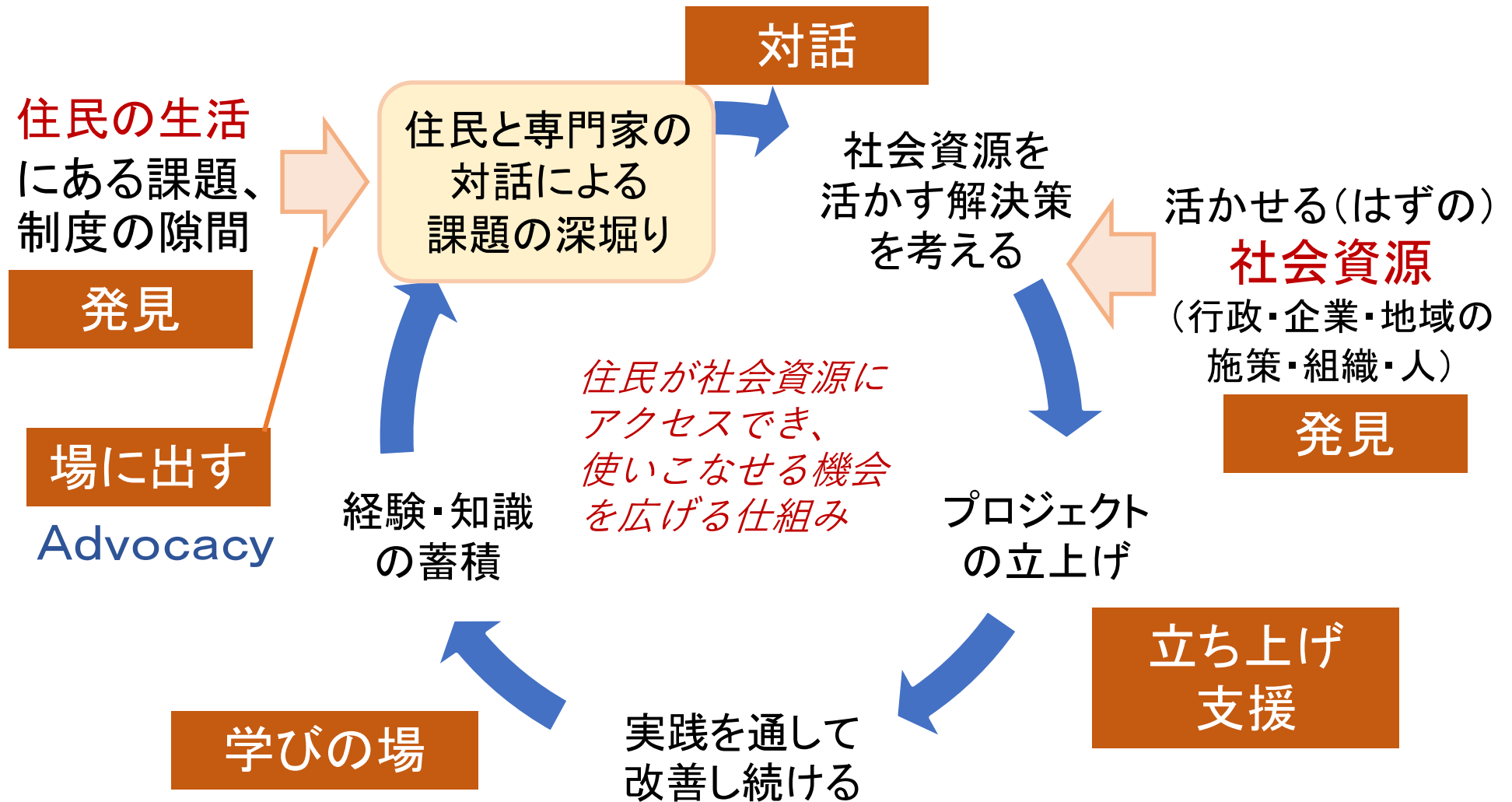
マンディさん

- 若いシングルマザー
地域に知り合いもいない
- 公園で一人にいる時に、
「お茶しない？」と誘われた
- お茶している時、隣でアートの
ワークショップがあった
- のぞいたら、みんなが名前を
呼んでくれた
- アートに通う中で、自分の将来
への不安を話すことができた
- 「社会福祉の勉強してみたら？」
- 社会福祉士の資格をとる
- 現場で働きが認められ、
今は相談センターのマネージャー



自分も困難な状況にいたから
「何を諦めているか」わかる。
自分の仕事は、相談者に寄り
添い、社会資源を探し出し、
活用法を一緒に考え、アクセ
スできるようにする。
「自分のことを自分で決めて
いける人になってほしい」

地域の課題解決を進めるために



福本委員からの報告

「検討枠組み」に対する試案
—学校経営学の観点から—

第12期東京都生涯学習審議会 第8回全体会

「検討枠組み」に対する試案 ー学校経営学の観点からー

令和4年8月26日 於:東京都庁第二本庁舎31階 特別会議室24

東京学芸大学大学院教育学研究科教育実践専門職高度化専攻
(学校組織マネジメントプログラム) 教授 福本 みちよ

自己紹介 福本 みちよ

東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)教育実践専門職高度化専攻(学校組織マネジメントプログラム)

○ 専門:学校経営学／教育行政学／比較教育学

○ 主な研究内容:

福本みちよ(2022)「**ニュージーランド**教育改革の展開過程にみる**学校ガバナンス**改革と**学校支援**—Tomorrow's Schools Reviewの分析を通して—」東京学芸大学『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅱ第73集』

福本みちよ(2020)「**スクールリーダー教育**に関する海外の動向—ニュージーランドを事例として—」日本教育経営学会『日本教育経営学会紀要第62号』pp.155-157

福本みちよ(2016)「**横浜市**における分権型教育行政組織の再編整備による学校支援体制の構築」日本教育行政学会『学会創立50周年記念誌』pp.85-91、教育開発研究所

福本みちよ編著(2013)『**学校評価システム**の展開に関する実証的研究』玉川大学出版部

○ 学校管理職としての実務経験:

2020年4月-2022年3月 東京学芸大学附属世田谷中学校校長

本提案の構成

- 1 本提案の前提
 - (1) 高等学校教育の現状
 - (2) 高等学校教育改革の方向性
 - (3) 都立高校を取り巻く現状
 - (4) 教員の働き方改革
- 2 「検討枠組み」に対する試案

1. 本提案の前提

(1) 高等学校教育の現状

【出典:文部科学省(2021)「高等学校教育の現状について」】

- ・高等学校等への進学率 98.8%(令和2年度)
- ・高等学校普通科の生徒数 73.1%(同上)
- ・高等学校普通科生徒の大学等への進学 65.3%(同上)

(2)高等学校教育改革の方向性

令和3年3月31日付 学校教育法施行規則、高等学校設置基準等の一部改正

1)各高等学校の特色化・魅力化(スクール・ミッションの再定義)

2)普通科改革(「普通教育を主とする学科」の弾力化)

- (a) 学際領域に関する学科については大学等との連携協力体制を整備するものとする。
- (b) 地域社会に関する学科については地域の行政機関等との連携協力体制を整備するものとする。
- (c) 上記2学科は、関係機関等との連絡調整を行う職員の配置その他の措置を講じるよう努めるものとする。

【学際的な学びに重点的に取り組む学科】

- …SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴って生じる諸課題に着目し、国際社会及び日本社会における課題の発見・解決に資する資質・能力を育成
- …国内外の高等教育機関や国際機関、国の機関等との連携・協働により、大学教育の先取り履修や高大連携講座の仕組みの構築などを実施

【地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科】

- …地元市町村を中心とする地域社会の有する課題・魅力に着目し、地域社会の持続的な発展や価値の創出に資する資質・能力を育成
- …地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体等との連携・協働により、フィールドワークや事例研究、社会人講座などを実施

3)高等学校通信教育の質保証

4)多様な学習ニーズへの対応

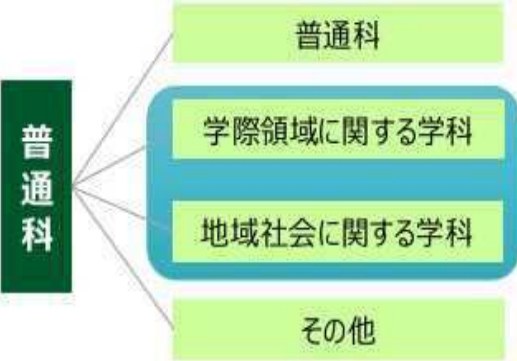
文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業」

(令和4年度予算額(案)2億円)

事業内容


① 普通科改革支援事業

令和4年度より設置が可能となる学際領域学科及び地域社会学科を設置する予定の高等学校等に対し、設置にあたって義務化されている関係機関等との連携協力体制の整備や、配置が努力義務化されているコーディネーターの配置など、新学科設置の取組を推進する。




② 創造的教育方法実践プログラム

教科等横断的な学びの実現による資質・能力の育成の推進のため、遠隔・オンライン教育や質が確保された通信教育を活用した新たな方法による学びを実現する。具体的には、(1)Society 5.0に対応する先端的な学び、(2)自分のペースでの学習に着目し、同一設置者の学校間のみでなく、他地域における大学や研究機関、国際機関等の関係機関からの同時双方向型の授業を取り入れたカリキュラム開発を行い、新しい時代の学びを創造する。



③ 高校コーディネーター 全国プラットフォーム構築事業 (PDCAサイクルの構築)

高校と地域、関係団体等とをつなぐコーディネーターの全国的なプラットフォームを構築する。プラットフォームにおいては、コーディネーター人材やコーディネーターを受け入れる学校に対する研修を行うとともに、コーディネーター間の情報共有を促す場を創出することで、コーディネーターが持続的効果的に活躍できるようにするとともに、成果指標の検証による高等学校改革のPDCAサイクルの構築を図る。



(3)都立高校を取り巻く状況

- ・都立学校数 186校(令和4年4月1日現在)
- ・多様なタイプの学校
総合学科高校／単位制高校／科学技術高校／産業高校／進学型商業高校
(ビジネスコミュニケーション科)／総合芸術高校／昼夜間定時制高校(単位制)／
チャレンジスクール(定時制・総合学科)／エンカレッジスクール／総合学科高校

《東京都教育委員会(2022)「都立高校の現状把握に関する調査の結果について」から》

- ・都立高校志望者、私立高校志望者ともに「学習指導の充実」を重視
- ・都立高校志望者は「自宅に近い」ことも重視
- ・都立高校に改善を期待する点は「施設・設備の充実」「社会の変化に対応できる能力の修得」の割合が高い。
- ・「先生が教えて生徒が学ぶ」から「生徒の好き・やりたい」を見つけて実践できる場に。

(4)教員の働き方改革

「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」(答申)(平成31年1月25日中央教育審議会)

- 教員勤務実態調査(平成28年度)にも、看過できない教師の勤務実態が示されている。
- 「日本型学校教育」を維持し、新学習指導要領を着実に実施するには、教師の業務負担の軽減が喫緊の課題。
- 「学校における働き方改革」により、教師が心身の健康を損なうことのないよう業務の質的転換を図り、限られた時間の中で児童生徒に接する時間を十分に確保し、教師の日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の人間性を高め、児童生徒に真に必要な総合的な指導を、持続的に行うことのできる状況を作り出す。

《解決の方向性》

「膨大になってしまった学校及び教師の業務の範囲を明確にし、限られた時間の中で教師の専門性を生かしつつ、児童生徒に接する時間を十分確保」する。

⇒ 学校及び教員が担う業務の**明確化・適正化**

学校・教師が担う業務のあり方に関する考え方

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等 (事務職員等)</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑦校内清掃 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑧部活動(部活動指導員等)</p> <p>※ 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応 (学級担任と栄養教諭等との連携等)</p> <p>⑩授業準備(補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑪学習評価や成績処理(補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑫学校行事の準備・運営 (事務職員等との連携、一部外部委託等)</p> <p>⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等)</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応(専門スタッフとの連携・協力等)</p>

「検討枠組み」に対する試案 ー学校経営学の観点からー

パターン I【従来型／学校施設開放のみ＋すべての都立高校で必須】

〈特徴〉

・従来の学校施設開放のみを担う
(公開講座を実施しない分、学校の負担は軽減される)

①学校施設開放

パターン I

すべての
都立高校での
必須項目

〈課題〉

- 「鍵の受け渡し等」の人的作業負担はそのまま残る。
- コロナ禍での経験を踏まえると、外部者を学校内部に入れることへの抵抗感、負担感は従来以上に大きくなっている。

👉 形骸化の可能性を払拭できない。

〈新システム導入に向けて〉

- 要望がある学校に対しては、学校施設開放に関する事務全般(貸出事務、利用後の施設管理含む)を担うアクターを配置するシステムを構想できないか。

パターンⅡ【従来型／学校施設開放＋高校の教育機能開放】

〈特徴〉

- ・これまでの都立学校公開講座と基本的に同じ仕組み
- ・但し、あくまで高校側の意思で実施することを前提とする
(中等教育学校や専門高校には一定のニーズがあると考えられる)

②高校の
教育機能開放

①学校施設開放

パターンⅡ

高校が自らの
意思で
選択する

〈課題〉

- ・これまでの取組を整理し、成果と課題の「見える化」を。

〈新システム導入に向けて〉

- ・それぞれの都立高校の「教育機能」の「差別化」と「見える化」。
- ・「教育機能」を開放することが、当該都立高校にとってどのようなメリットにつながるのか、具体的なシミュレーションを提示。
- ・これまで以上の広報活動が必要。そのバックアップは可能か。
- ・取組の成果を、他の都立高校を含めて一般に公開する広報システムの検討。

パターンⅢ【教育活動発展型／学校施設開放＋NPOと連携】

〈特徴〉

- ・NPO等が高校の教育活動の「応用」「発展」を担う活動を展開してくれる場合に、NPOに学校施設を優先利用させる
- ・高校はその対価として、キャリア教育や総合的な探究の時間の支援を受けることができる

③NPOと連携

①学校施設開放

パターンⅢ

高校の教育意思が反映される

コーディネーターが重要な役割を担う

〈新システム導入に向けて〉

- NPO等による活動の位置付け、受講対象によって、学校(教員)側の関わり方は大きく異なる。
 - ☞ ○教育課程上のどこに位置付けるのか
 - 活動の受講対象は当該都立学校生徒のみか、それ以外にも含めるのか
- 安全管理上の問題をどう考えるか。
- 学校施設開放事業としてのNPO等主体による活動と、通常授業にNPO等を外部講師等として招聘するのと、何が異なるのか。
- 活動の実施主体がNPO等であっても、当該都立高校の教育活動(の展開部分)と位置付けるのであれば、カリキュラム・マネジメントの観点からの精緻化を。

パターンⅣ【都民の「学び」支援型／学校施設開放＋区市町村、知事部局への施設開放】



＜新システム導入に向けて＞ 【事例：ニュージーランドにおけるPLDシステム】

PLD: Professional Learning and Development



Exploring professional growth cycles in your setting: A workshop for leaders

Your chance to gain clarity about Professional Growth Cycles (PGCs) and how they can work effectively in your school, kura, centre.

This workshop is a chance for professional leaders to engage deeply with this topic, to network with other leaders and to reflect on how they are supporting their teachers to grow whilst meeting professional requirements.

Professional leaders are experiencing a shift from an appraisal model to considering what a professional growth cycle will mean for their staff/colleagues. This workshop is designed to support and challenge thinking, to provide clarity of requirements, and to offer professional leaders an opportunity to deepen their understanding of PGCs in their own setting.

Learning outcomes

- clarify what we know, want to know and need to know about PGCs
- determine what makes a successful growth cycle in our setting
- time to think and plan with expert support.

What to expect

This full-day workshop is a must for any leader who is interested in clarifying, consolidating or checking-in about Professional Growth Cycles and how these can work effectively for their setting. Leaders will have the opportunity to deepen their understanding of PGC

07 September 2022

Hawke's Bay/Tairāwhiti Gisborne

9:30am to 3:30pm, Wednesday 7 September Venue: Napier War Memorial Centre, 48 Marine Parade, Napier

22 September 2022

Canterbury/Chatham Islands

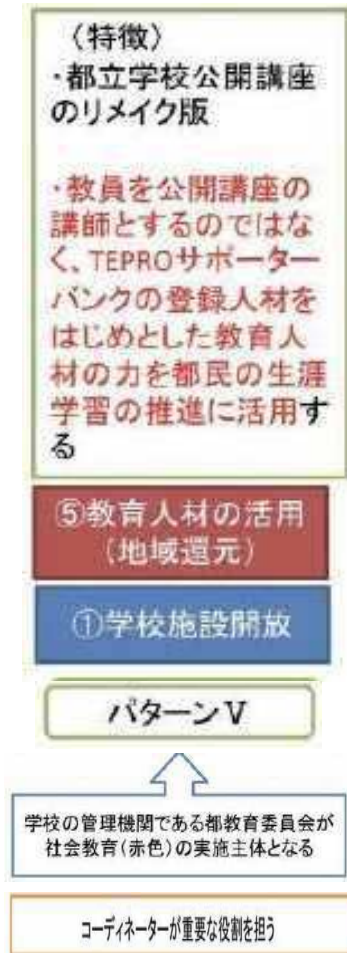
9:30am to 3:30pm, Thursday 22 September Venue: Christchurch TBA

30 September 2022

Auckland

9:30am to 3:30pm, Friday 30 September Venue: Kohia Centre, Faculty of Education and Social Work, Epsom, Auckland

パターンV【都民の「学び」支援型／学校施設開放＋教育人材の活用（地域還元）】



＜新システム導入に向けて＞

- ・ 高等学校教育改革の方向性とも親和性が高い発想。
- ・ 「都民の生涯学習の推進」という柱と合わせて、「コーディネーターの養成」を重視したシステム設計も可能ではないか。
- ・ パターンⅠ及びパターンⅢにおける検討課題と同様。